

**I G L 医療専門学校
自己点検・自己評価報告書**

平成23年度版

目 次

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

1-1 理念・目的・育成人材像

- 1-1-1 建学の精神・教育理念・目標が学内外に示されているか..... 1
- 1-1-2 上記の理念及び目標実現の計画について..... 1
- 1-1-3 理念の内容に対する点検, 見直しについて..... 1
- 1-1-4 教育理念, 目的・育成人材像の周知について..... 1

1-2 学校の特徴はなにか

- 1-2-1 学校の特徴として挙げられるものは何か..... 2

1-3 学校の将来構想について

- 1-3-1 将来構想について..... 2

基準 2 学校運営

2-1 学校の運営方針について

- 2-1-1 学校の目的, 目標に基づき, 学校運営方針は明確に定められているか..... 3
- 2-1-2 運営方針の教職員への周知はなされているか..... 3
- 2-1-3 学校運営方針を基に, 各種諸規定が整備されているか..... 3

2-2 運営組織

- 2-2-1 運営組織図が設定され, 組織の職務分掌と責任は明確化されているか..... 3
- 2-2-2 管理部門と教学部門の連携を図るために必要に応じて会議を開き, きめ細かに具現化することに努めているか..... 3
- 2-2-3 学内外に対する危機管理体制整備について..... 3

2-3 運営の意志決定システムの確立について

- 2-3-1 学校運営の意志決定システムは学校運営組織図により確定されているか.... 4
- 2-3-2 学校運営に必要な人材の確保と育成について..... 4

基準 3 教育活動

3-1 教育課程, 内容, 学習量について

- 3-1-1 各学科の教育目標, 育成人材像は, その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか..... 5
- 3-1-2 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか..... 5
- 3-1-3 カリキュラムを定期的に見直しているか..... 5
- 3-1-4 各教科はカリキュラムの中で適正な位置付けがされているか..... 6
- 3-1-5 臨床実習の実施時期, 方法, 指導体制などは適正か..... 6
- 3-1-6 臨床実習の患者確保に向けた対策は採られているか..... 6
- 3-1-7 臨床実習におけるリスクマネジメント体制はできているか..... 7
- 3-1-8 各科目の指導内容, 方法等を示したシラバスが作成されているか..... 7
- 3-1-9 学生による授業評価を実施しているか..... 7

3-1-10	授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか.....	7
3-2	育成目標に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	
3-2-1	学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか.....	8
3-2-2	教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか.....	8
3-2-3	教員の専門性を向上させる研修を行っているか.....	8
3-2-4	教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか.....	8
3-3	成績評価・単位認定の基準	
3-3-1	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか.....	8
3-3-2	他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか.....	8
3-4	資格取得のための指導体制	
3-4-1	目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか.....	9
3-4-2	目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか.....	9
3-5	教育成果	
3-5-1	就職率の向上について.....	10
3-5-2	資格取得率の向上について.....	10
3-5-3	学生の学力向上について.....	10
3-5-4	退学率の低減について.....	10
3-5-5	卒業生、在校生の社会的評価について.....	10
基準4	学生支援	
4-1	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	
4-1-1	学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか..	12
4-1-2	就職に関する説明会を実施しているか.....	12
4-1-3	就職に関する学生個別相談を実施しているか.....	12
4-1-4	就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか..	12
4-2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	
4-2-1	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか.....	12
4-2-2	学生相談室を開設しているか.....	12
4-2-3	専用カウンセラーがいるか.....	12
4-3	学生の経済的側面に対する支援が全面的に整備され、有効に機能しているか	
4-3-1	学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか.....	13
4-3-2	奨学金制度が整備され、有効に機能しているか.....	13
4-3-3	学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか.....	13

4-4	学生の健康管理を行なう組織体制があり、有効に機能しているか	
4-4-1	定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか.....	13
4-4-2	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか.....	13
4-4-3	学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか.....	13
4-5	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	
4-5-1	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか.....	14
4-6	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	
4-6-1	遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われて いるか.....	14
4-7	保護者との連携は適切に取られているか	
4-7-1	保護者と適切に連携しているか.....	14
4-8	卒業生を支援するシステムはあるか	
4-8-1	同窓会が組織化され、活発な活動をしているか.....	15
基準5 教育環境		
5-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	
5-1-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか..	16
5-1-2	施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか.....	16
5-1-3	施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか.....	16
5-2	防災体制は整備しているか	
5-2-1	防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか.....	16
5-2-2	災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられている か.....	16
5-2-3	実習時等の事故防止の体制は十分か.....	16
5-2-4	万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなってい るか.....	16
基準6 学生募集		
6-1	学生募集活動は、適正に行われているか	
6-1-1	学生募集活動は、適正に行われているか.....	17
6-1-2	学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっ ているか.....	17
6-1-3	志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか.....	17
6-1-4	学納金等に関する表記は正確か.....	17
6-2	学生募集において、教育成果は正確に伝えられているか	
6-2-1	学生募集活動において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育 成果は正確に伝えられているか.....	17

6-3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	
6-3-1	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか.....	17
6-3-2	入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか....	17
基準7 財務		
7-1	財務（予算、決算、財務情報の公開等）	
7-1-1	学校教育を行う上で、必要な経費が確保され、かつ収入と支出のバランスを考慮した運営がなされているか.....	18
7-1-2	適切に会計処理がなされているか.....	18
7-1-3	会計監査等が適正に行われているか.....	18
7-1-4	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか.....	18
7-1-5	財務情報の公開が適切な方法でなされているか.....	18
基準8 法令等の遵守		
8-1	法令等の遵守について	
8-1-1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか.....	19
8-1-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか.....	19
8-1-3	自己点検・自己評価を定期的に行い、問題点の改善に努めているか....	19
8-1-4	自己点検・自己評価に関する方針はあるか.....	19
8-1-5	自己点検・自己評価を公開しているか.....	19
8-1-6	第三者機関による学校評価を受ける予定か.....	19

IGL 医療専門学校自己点検・自己評価

項 目		記録者及び日時	
基準 1	教育理念・目的・育成人材像等	平越 柳楽	
1-1	理念・目的・育成人材像	平成24年8月28日	
	自己評価	改善点など	
		資料	
1	<p>建学の精神・教育理念・目標が学内外に示されているか。</p> <p>本校の建学の精神は「隣人愛」である。</p> <p>I 教育理念：「隣人愛」</p> <p>校 訓：「自信と謙遜」</p> <p>II 教育目標</p> <p>1 はり師・きゅう師・柔道整復師・歯科衛生士として優れた専門的知識、技能を備えかつ医療人に相応しい人間性をもつ人材を育成する。</p> <p>2 はり師・きゅう師・柔道整復師・歯科衛生士としての資質向上のために生涯にわたって主体的に研究・研修を続ける能力・態度を育成する。</p> <p>3 社会のグローバル化に対応して、医療人としての使命を果たすことのできる広い視野と能力を育成する。</p> <p>上記の教育理念、校訓のもとに全ての教育活動を展開している。</p>	<p>特になし</p>	<p>平成23年度 I G L 医療専門学校事業計画</p> <p>学校案内パンフレット 2013年版(以下学校案内パンフレット)</p> <p>I G L 医療専門学校ホームページ http://www.igl.ac.jp/iryo/ (以下学校公式ホームページ。上記アドレスは24年リニューアル済みのもの)</p>
2	<p>上記の理念及び目標実現の計画について。</p> <p>毎年度の事業計画の中に明文化している。</p>	<p>グループ内での公表に留まっている。これを一般に公表することが望まれる。</p>	
3	<p>理念の内容に対する点検、見直しについて。</p> <p>本校は平成13年設置の学校であり、いまだ理念を変更すべき状況に至っていない。</p>	<p>将来的に現在の教育理念などを見直すシステムを整備する。</p>	
4	<p>教育理念、目的・育成人材像の周知について。</p> <p>学外に対する周知方法は、学校説明のパンフレット及び本校の公式ホームページによる。特にホームページについては平成21年のリニューアルに続き平成24年リニューアルを行う。教職員に対する周知方法は毎年の事業計画に明示されている。</p>	<p>ブログによる最新データの提供を心がける。</p>	
備考			
<p>1 I G L グループは、「隣人愛」(自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい)を基本理念として、乳幼児から高齢者までの人生の理想郷をつくることを目指している。</p> <p>2 I G L グループは、上記の理念の具現化のために、学校法人、社会福祉法人、医療法人、宗教法人等を持ち、現在、50を超える事業所を運営している。</p> <p>3 学校法人は、専門学校2校、幼稚園4園をもっている。</p> <p>4 I G L 医療専門学校の姉妹校である I G L 健康福祉専門学校には、外国人留学生を受け入れる日本語学科を設置している。</p>			

IGL 医療専門学校自己点検・自己評価

項 目		記録者及び日時
1-2	学校の特色はなにか	平越 柳樂 平成24年8月28日
自己評価		資 料
1	<p>学校の特色として挙げられるものは何か。</p> <p>学生を学校の主役とする。 学生の目標達成のために教職員は全力を尽くす。 これらは学校の運営方針に明記しており、教職員の共通理解となっている。</p>	<p>改善点など</p> <p>補習や個人相談などを実施しているがシステム的に取り組む体制が必要。</p> <p>年度別学校運営方針</p>
備考		
1-3	学校の将来構想について	平越 柳樂 平成24年8月28日
自己評価		資 料
1	<p>将来構想について。</p> <p>国家試験の合格率をより向上させる。</p> <p>卒業生と連携しつつ地域社会へのより一層の貢献を図る。</p> <p>18歳人口の減少に伴い外国人留学生の受け入れも検討している。姉妹校のIGL健康福祉専門学校では日本語学科を新設し、中国、ベトナムから留学生を受け入れている。</p>	<p>改善点など</p> <p>教員の資質の向上。</p> <p>同窓会との連携を基に卒業生に一層働きかける。</p> <p>留学生を受け入れる場合は留学生の日本語能力と国家試験のレベルの乖離を埋める。</p> <p>留学生の卒業後の就職の保障をする。</p> <p>全国学校法人専門学校協会「専門学校における留学生受け入れ実態に関する調査研究」報告</p>
備考		

項 目		記録者及び日時
基準 2	学 校 運 営	平越 柳樂
2-1	学校の運営方針について	平成24年8月28日
	自己評価	資 料
1	<p>学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか。</p> <p>各年度の事業計画に明示してある。</p>	<p>特になし</p> <p>年度別事業計画書 学生便覧</p>
2	<p>運営方針の教職員への周知はなされているか。</p> <p>校長が各年度の事業計画に明示するとともに、年度当初の教職員会議で説明している。</p>	
3	<p>学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか。</p> <p>諸規定及び事業計画書等整備されている。</p>	
備考		
2-2	運 営 組 織	平越 柳樂 平成24年8月28日
	自己評価	資 料
1	<p>運営組織図が設定され、組織の職務分掌と責任は明確化されているか。</p> <p>運営組織や委員会組織により明確化されている。</p>	<p>特になし</p> <p>運営組織図 各種委員会組織図</p>
2	<p>管理部門と教学部門の連携を図るために必要に応じて会議を開き、きめ細かに具現化することに努めているか。</p> <p>必要に応じて校務運営会議を開催している。</p> <p>また、教職員はそれぞれが各委員会に所属し、各種委員会活動を通じて学校運営を担っている。</p>	
3	<p>学内外に対する危機管理体制整備について。</p> <p>個人情報の管理についてはPC運用規定によりコンピュータの管理を行っている。</p> <p>また、校内の事故などについてはAEDの導入や、学生全員の保険加入により対応している。</p> <p>通学時などの事故防止のため、新入生を対象に毎年4月に交通安全講習会を行い、注意喚起に努めている。</p> <p>針刺しなど医療事故対策としては事故発生時のマニュアルを作成し毎年点検、修正している。</p> <p>また、事故発生時のリスク軽減のためHBVワクチン（B型肝炎ワクチン）の接種を実施している。</p> <p>災害対策としては防火管理者を中心に組織づくりを行っている。</p>	<p>危険項目ごとの対応が主体で、全学を通じた横断的な危機管理体制をより充実させることが必要と考えられる。</p> <p>また、学外からの訪問者が増加した場合に備え、セキュリティ対策も強化しておく必要がある。</p> <p>IGLグループPC運用規定 (財)専修学校教育振興会 東京海上日動火災保険㈱ 三井住友海上火災保険㈱</p>
備考		

IGL 医療専門学校自己点検・自己評価

2-3	運営の意志決定システムの確立について	平越 柳樂 平成24年8月28日
自己評価	改善点など	資料
<p>1 学校運営の意志決定システムは学校運営組織図により確定されているか。</p> <p>確定されている。 また、それを円滑に遂行するために校務運営会議、各学科会議、各委員会を開催している。</p>	特になし	運営組織図 各種委員会組織図
<p>2 学校運営に必要な人材の確保と育成について。</p> <p>人材確保については十分であるが、育成に関しては改善の余地がある。</p>	教員だけでなく、事務職員を対象とした資質向上の取り組みが必要である。	
備考		

項 目		記録者及び日時	
基準3	教育活動	武田 尾野 柳樂 平成24年8月28日	
3-1	教育課程, 内容, 学習量について		
	自己評価	改善点など	
		資料	
1	<p>各学科の教育目標, 育成人材像は, その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか。</p> <p>各学科の教育内容は, 業界の幅広いニーズに対応するため, カリキュラムを見直し, 多用な業界のニーズに対応する人材育成に適応したプログラムとなっている。</p> <p>《鍼灸学科》 平成18(2006)年度入学生から新カリキュラムにし, 鍼灸業界の多様な人材ニーズに対応している。また, 業界・関係団体との連携を密にするとともに, 専任教員も業界の一員として鍼灸臨床を行っている。</p> <p>《柔整学科》 常にカリキュラムの問題点を整理し, 多様化するニーズにすばやく対応している。 また, 3年次で卒業研究を行い, 学生が教科書的な知識の習得のみでなく, 主体的に学ぶ機会を設けている。また同じく3年次での柔整治療学の授業において外部講師を招き, 臨床における今日的課題を学ぶ機会を設けている。</p> <p>《口腔保健学科》 養成する歯科衛生士の活動の場として歯科診療所や病院でのニーズに対応した人材育成を行っている。 また, 健康増進法, 介護保険法, 食育基本法の施行に伴い, 歯科衛生士の地域での活動の場が広がり, 口腔ケアに対するニーズが高まってきた。 これに伴い新たな活動の場である老人福祉施設, 保育園・幼稚園の職員と事前に教育内容を打ち合わせ, それに沿った実習を行っている。</p>	<p>業界・関係団体との連携をより強化し, ニーズに対応した教育目標と方略を設定する。</p>	<p>カリキュラム編成表 シラバス 学生便覧教育課程表 組織図 卒業論文集(2008~2011)</p>
2	<p>カリキュラムを編成する体制は明確になっているか。</p> <p>各学科会議を中心にカリキュラムについての意見を集約し, 協議した上で, 教務部が取りまとめている。</p>	<p>特になし</p>	
3	<p>カリキュラムを定期的に見直しているか。</p> <p>《鍼灸学科・柔整学科》 平成17年度にカリキュラム編成委員会を設置し, 平成18年度から適用している。</p> <p>《口腔保健学科》 平成21年度にカリキュラムを見直し, 平成22年度から適用している。</p>	<p>全学科とも授業評価や教員の意見を取り入れ, より良いカリキュラムに見直す。</p>	

<p>4 各教科はカリキュラムの中で適正な位置付けがされているか。</p> <p>《鍼灸学科》 基礎分野，専門基礎分野，専門分野を西洋医学，東洋医学にバランスよく，3年間で体系的に編成している。 また，3年次には，はり師・きゅう師の国家試験対策授業を編成している。</p> <p>《柔整学科》 基礎分野，専門基礎分野，専門分野を3年間で体系的に編成している。 また，3年次には，柔道整復師の国家試験対策授業を編成している。</p> <p>《口腔保健学科》 基本的な知識の学習から，校内での実技実習を経て，校外での臨地・臨床実習へと，スムーズに段階的な知識理解と技術習得が進むよう，カリキュラムを踏まえて各科目の履修時期，試験の方法などを常に工夫している。</p>	<p>業界・関係団体からの講師を積極的に招聘していく。</p> <p>教員の意見や授業評価等を参考にしてより良い科目の配置を検討する。</p>	
<p>5 臨床実習の実施時期，方法，指導体制などは適正か。</p> <p>《鍼灸学科》 3年次に学校附属治療院で実施している。 指導は本校の専任教員5名，非常勤教員1名の計6名が交代で担当している。</p> <p>《柔整学科》 3年次に学校附属接骨院で実施している。指導は専任教員3名が曜日を決めて指導している。</p> <p>《口腔保健学科》 関係省庁の法令及び指導要領に，実習施設に関する要件が定められている。これに則り適正に実施している。 本校では，IGLグループの老人保健施設や認定こども園での実習が実施し易いことが他校に比べて有利な点である。</p>	<p>学生の実技到達度を確認しつつ内容等を確認していく。</p>	<p>臨地・臨床実習帳 施設からの評価表 臨床実習における学生配布資料 (財)専修学校教育振興会 東京海上日動火災保険 株個人情報漏洩保険 針刺し事故マニュアル</p>
<p>6 臨床実習の患者確保に向けた対策は採られているか。</p> <p>《鍼灸学科》 患者募集のチラシを作成し，校内で配布するとともに，グループ施設での周知を図っている。</p> <p>《柔整学科》 ホームページ上で案内を出し，協力が得られる患者を募集している。</p> <p>《口腔保健学科》 各実習先で十分な患者数が得られていることから，現在のところ特段の対策は採っていない。</p>	<p>患者対象の実習が行われない場合は学校の実習で患者モデルを準備できるようにしていく。</p>	

<p>7 臨床実習におけるリスクマネジメント体制はできているか。</p> <p>各学科ともできている。</p> <p>臨床実習における事故発生時の連絡体制はできている。</p> <p>口腔保健学科は、実習帳に明記している。</p> <p>特に針刺し事故についてはマニュアル化し、迅速に対応できるようにしている。</p>	<p>特になし</p>	
<p>8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか。</p> <p>各授業科目担当教員が共通フォーマットに沿ってシラバスを作成し、開講時に学生に配布している。</p>	<p>1コマごとの授業内容を明記したシラバスを作成する。</p> <p>フォーマットを見直す。</p>	<p>シラバス</p>
<p>9 学生による授業評価を実施しているか。</p> <p>学期末及び年度末に、学生による授業評価アンケートを実施している。</p>	<p>半期あるいは全期を通しての評価のため、短期的な問題点が見過ごされる可能性がある。</p>	
<p>10 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか。</p> <p>授業評価の結果は、各教員にフィードバックされるが、その評価・改善策などは、各教員に任されている。</p>	<p>教務部長及び学科長を中心に、把握・評価・改善を行う。</p>	<p>授業評価用紙</p>

3-2	育成目標に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	武田 尾野 柳樂 平成24年8月28日
	自己評価	改善点など
<p>1 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか。</p> <p>《鍼灸学科》 各教員は鍼灸学会、医学研修会及び東洋療法学校協会主催による教員研修会等へ積極的に参加し、最新の知見を習得している。 また、学校教育以外でも鍼灸臨床を行い、自己研鑽している。</p> <p>《柔整学科》 各教員は各種医学会、医学研修会及び柔道整復学校協会主催による教員研修会等へ積極的に参加し、最新の知見を習得するとともに自己研鑽に励んでいる。</p> <p>《口腔保健学科》 関係省庁の法令及び指導要領に教員の要件が定められている。 これに応じて教員を確保している。</p>	特になし	資料
<p>2 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか。</p> <p>対応している。</p> <p>教員の資格は必ず当該国家資格が必須であり、当然専門性レベルは業界レベルに達している。</p>	臨床現場の変化に対応するために、適宜研修などで研鑽を続けることが必要である。	
<p>3 教員の専門性を向上させる研修を行っているか。</p> <p>各学科とも積極的に各種医学会、医学研修会、教員研修会等に参加し資質の向上に努めている。 また、新人教員に対し、指導教員の指導のもと、補習を担当させ、専門性、教授力を高めている。</p>		
<p>4 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか。</p> <p>進度表を全ての教員間で共有しており、各授業の進度を適切に把握している。</p>	進度表のみで対応できない急な変化に対応するための連絡体制をより強化する。	進度表
3-3	成績評価・単位認定の基準	武田 尾野 柳樂 平成24年8月28日
	自己評価	改善点など
<p>1 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。</p> <p>学生便覧の「学業成績」に明記するとともに、シラバスに成績評価・単位認定の基準を明記している。</p>	特になし	学生便覧 シラバス
<p>2 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか。</p> <p>学生便覧の「既修得科目の単位互換について」に明記している。</p>	特になし	

IGL 医療専門学校自己点検・自己評価

3-4	資格取得のための指導体制	武田 尾野 柳樂 平成24年8月28日
	自己評価	改善点など
	資料	
1	<p>目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか。</p> <p>明確に定められている。</p>	特になし
2	<p>目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか。</p> <p>資格取得に必要な各学科の専門科目に関しては、3年次で総復習を行い資格取得に向けてサポートしている。 また、学内実力判定試験を実施し、学力に不安のある学生を早期にピックアップし、補講等で指導する体制をとっている。</p>	<p>学生の自覚をより高めるために指導を強化、改善する。</p>
		各教科シラバス参照

3-5	教育成果											
自己評価	改善点など	資料										
<p>1 就職率の向上について。</p> <p>各学科とも就職率は良好である。</p> <p>鍼灸学科，柔整学科は就職懇談会を開催し，就職希望者はほぼ全員が就職している良好な状態である。</p> <p>口腔保健学科は求人状況が良好であり，開業医との連携もあり良好な状態である。</p>	<p>学生の中には就職内定していても学校に報告しないことがある。</p> <p>報告をするように指導していく。</p>	<p>就職委員会資料</p>										
<p>2 資格取得率の向上について。</p> <p>本校は国家資格を目指す医療系専門学校であり，最終目的は国家試験合格による免許取得にある。</p> <p>口腔保健学科は今年度3回目の卒業生を出し，100%の合格率であった。</p> <p>鍼灸学科・柔整学科の合格率は次のとおりである。（ ）内は全国新規卒業者合格率（はり師・きゅう師は視力障害者の養成校を除く晴眼者の養成校の合計）</p> <table border="0" data-bbox="236 992 710 1075"> <tr> <td>はり師</td> <td>90.9%</td> <td>(86.4%)</td> </tr> <tr> <td>きゅう師</td> <td>90.9%</td> <td>(83.2%)</td> </tr> <tr> <td>柔道整復師</td> <td>96.0%</td> <td>(82.7%)</td> </tr> </table>	はり師	90.9%	(86.4%)	きゅう師	90.9%	(83.2%)	柔道整復師	96.0%	(82.7%)	<p>国家試験合格率を全国平均以上に向上させ，維持する。</p> <p>国家試験問題の解析と学生レベルに応じた指導をより強化する。</p>	<p>国家試験合格率</p>	
はり師	90.9%	(86.4%)										
きゅう師	90.9%	(83.2%)										
柔道整復師	96.0%	(82.7%)										
<p>3 学生の学力向上について。</p> <p>《鍼灸学科》 成績不良者に対して，週2回勉強会を行い，自己学習の習慣が身につくように指導している。</p> <p>《柔整学科》 1年次の成績不良者に対し，授業開始前の時間を利用してグループで補習を行っている。</p> <p>《口腔保健学科》 1年次より成績不良者を対象に補講を行っている。1年次の終わりがちから，授業の終了した科目について，国家試験に準じた型式の試験を実施し，随時解説を行っている。また，3年次には総復習と非常勤講師による特別講義を行っている。</p>	<p>《鍼灸学科》 早い時期から勉強会を行い指導していく。</p> <p>《柔整学科》 学力に不安のある学生を早期に指導するためスクリーニングを行い，早期に学習をする習慣づけができるように指導する。</p>											
<p>4 退学率の低減について。</p> <p>退学率については，年度により差があるが，開校以来の全入学者に対する退学率は，全学科ともほぼ15%である。</p> <p>欠席日数の多い学生や学習意欲の低下が見られる学生に対しては，担任を中心に早めに個人面談を行い指導している。</p>	<p>退学率の低減を図るために，学習意欲の低下しがちな学生を早目にピックアップし，指導していく。</p> <p>試験結果により学習意欲低下が明らかになる前に把握する努力がより求められる。</p>	<p>教務部資料</p>										
<p>5 卒業生，在校生の社会的評価について。</p> <p>開校11年目を迎え，業界で高い評価を得ている。</p> <p>鍼灸院，接骨院を開業している卒業生が増えている。</p>	<p>同窓会と連携を強化して卒業生の生涯学習をサポートすることにより評価の向上を図る。</p>	<p>IGL医療専門学校同窓会ホームページ http://www.igl-dsk.jp/</p>										

補足

卒業時に国家試験不合格になった者に対しては、1年間無料で聴講できる制度がある。

また、柔整学科では23年度後期の木曜日午後、既卒者に対して自主学習専用の教室を開放した。これはグループでの自主学習を中心に、資料や練習問題配布など教員がサポートできる環境づくりであり、既卒者の資格取得に対して有効であった。

項 目		記録者及び日時
基準 4	学生支援	曾根 柳樂 平成24年8月28日
4-1	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか。	
自己評価		資 料
1	<p>学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか。</p> <p>就職委員会及び各学級担任による就職・進学指導体制は整備され、有効に機能している。</p>	就職委員会資料 マナー講習会配布資料
2	<p>就職に関する説明会を実施しているか。</p> <p>鍼灸学科、柔整学科は、毎年秋に就職懇談会を開催し、就職希望学生と求人（業界）側との懇談できる場を設定している。</p>	
3	<p>就職に関する学生個別相談を実施しているか。</p> <p>各教員が個別に相談に当たっている。</p>	
4	<p>就職の具体的活動（履歴書の書き方など）に関する指導を実施しているか。</p> <p>毎年7月、外部講師を招聘し、マナー講習会を開催している。</p>	
4-2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	
自己評価		資 料
1	<p>学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか。</p> <p>担任を中心にして、随時相談に対応している。</p>	学校案内パンフレット 学生便覧 「学生生活について」
2	<p>学生相談室を開設しているか。</p> <p>学生相談室は開設している。</p>	
3	<p>専用カウンセラーがいるか。</p> <p>専従カウンセラーは存在していない。</p>	

4-3	学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	曾根 柳樂 平成24年8月28日
	自己評価	改善点など
	1 学生の経済的側面に対する支援が、全体的に整備され、有効に機能しているか。 支援を必要とする学生には日本学生支援機構の奨学金及び本校が民間企業と提携している教育ローン制度を紹介している。	特になし
	2 奨学金制度が整備され、有効に機能しているか。 日本学生支援機構の奨学金制度を柱として紹介し、申請から返還までのサポートを学生担当職員及び各学科担当教員が行っている。 40%の学生が利用している。(23年度実績)	手続きや添付書類などが複雑でありサポートを行う。
	3 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか。 経済的(やむを得ない)理由により納入が困難な事情が発生した場合は、所定の手続きを経て、分納・延納を可能とする制度を設けている。 担任が面談を行い、場合により保護者と担当者との面談も行う。	計画的な納入の指導を行う。
補足：奨学金制度の具体的な検討を行い、今後開拓していく必要がある。		
4-4	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	曾根 柳樂 平成24年8月28日
	自己評価	改善点など
	1 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか。 学校教育法、学校保健安全法等に基いて毎年春に健康診断を実施している。	特になし
	2 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか。 健康診断結果で健康管理に十分留意するよう指導している。 インフルエンザ・B型肝炎ワクチンの予防接種も実施している。 また、禁煙週間を機に禁煙の呼びかけ、指導を行い、安佐南保健センターによる禁煙相談も合わせて行った。	ワクチン接種に関しては希望者のみである。
	3 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか。 学校医の所属するクリニックがグループ内にある。	特になし
		募集要項に記載
		学生便覧の学則「第39条」
		学生便覧「学生生活について」2 健康管理

IGL 医療専門学校自己点検・自己評価

備考：学校において、健康診断を的確かつ円滑に実施している。		
4-5	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	曾根 柳樂 平成24年8月28日
自己評価		改善点など
<p>1 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか。</p> <p>整備されている。</p> <p>平成23年4月現在で体育系クラブ7，文化系クラブ1が存在する。</p> <p>《体育系クラブ》 柔道部・野球部・中国武術部・サッカー部・バドミントン部・バスケット部・テニス部 《文化系クラブ》 カーブ愛好会</p>		<p>柔道場を除き、本校敷地内にグラウンド、体育館等の施設設備はない。</p> <p>活動日には校外施設を借用している。</p> <p>また、全国大会に出場するなど、臨時に援助が必要になった場合などの支持体制が未整備である。</p> <p>学校案内パンフレット 学校公式ホームページ</p>
4-6	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	曾根 柳樂 平成24年8月28日
自己評価		改善点など
<p>1 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。</p> <p>学生寮は完備していないが、遠隔地からの入学生には学校近隣のアパート・マンション等の物件を多く取り扱っている不動産業者を紹介している。</p>		<p>特になし</p> <p>学生募集要項</p>
4-7	保護者との連携は適切に取られているか	柳樂 平成24年8月28日
自己評価		改善点など
<p>1 保護者との連携は適切に取られているか。</p> <p>《鍼灸学科》 社会人入学者も多いため、必要に応じて担任を窓口で保護者との連携を図っている。</p> <p>《柔整学科》 柔整学科は近年高校卒での入学者が増えているため、担任を通じての保護者との連携を行っている。</p> <p>《口腔保健学科》 高校卒での入学者が多いため、入学時に保護者会を開催している。</p> <p>《共通》 出席状況や授業成績に問題のある学生については、早目に状況を伝えている。</p>		<p>学生の年齢層が幅広い ため一律の連携は難しい。</p>

4-8	卒業生を支援するシステムはあるか	柳樂 平成24年8月28日
	自己評価	改善点など 資料
<p>1 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか。</p> <p>《鍼灸学科，柔整学科》 同窓会が組織され，現在の会員は830名を超え，年1回総会・講演会・懇親会が開催されている。 その他，会員の企画による講習会も，年数回学校を会場として開催されている。</p> <p>《口腔保健学科》 口腔保健学科の同窓会設立にむけ準備が行われている。</p>	特になし	IGL医療専門学校同窓会ホームページ http://www.igl-dsk.jp/

項 目		記録者及び日時	
基準 5	教育環境	曾根 柳樂 平成24年8月28日	
5-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。		
	自己評価	改善点など	資料
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている。	教育設備・機器を充実させ計画的に更新する。	学生便覧 「校舎平面配置図」
2	施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか。 施設・設備のメンテナンスは委託業者との契約に基づき作業を実施している。 定期的な点検と補修に努め安全を確保している。		
3	施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか。 経年劣化が発生している。 中長期的に更新を行っている。		
5-2	防災体制は整備しているか	曾根 柳樂 平成24年8月28日	
	自己評価	改善点など	資料
1	防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか。 防火管理者を中心に組織・体制は整備されている。	防災設備機能の点検・ 防災知識の啓蒙をする。	火災予防管理組織編成表 自衛消防組織編成表 (財)専修学校教育振興会 東京海上日動火災保険㈱ A I U 保険会社
2	災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか。 設備・機器は専門業者に委託し、定期的な点検と補修に努め安全性を確保している。		
3	実習時等の事故防止の体制は十分か。 設備・機器は専門業者に委託し、定期的な点検と補修に努め安全性を確保している		
4	万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか。 指導教員、学生全員の保険加入をしている。		
補足			

IGL 医療専門学校自己点検・自己評価

項 目		記録者及び日時
基準6	学生募集	平越 柳樂
6-1	学生募集活動は、適正に行われているか	平成24年8月28日
	自己評価	改善点など
1	学生募集活動は、適正に行われているか。 適正に行われている。	特になし
2	学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか。 学生募集担当者、事務職員、教員が共同で内容、体裁、割付等を行い、分かり易いものになっている。	教育内容の充実。 国家試験合格率を向上させる。 ホームページを改善充実させる。 重点高校を反復訪問する。
3	志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか。 学生募集担当者、事務職員及び教員の連携が図られ、体制は確立している。	更に連携を強化する。
4	学納金等に関する表記は正確か。 募集要項に表記されており、正確である。	特になし
6-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	平越 柳樂 平成24年8月28日
	自己評価	改善点など
1	学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか。 正確に伝えられている。	パンフレット等に記載できる情報には限度があり、最新情報等を適宜伝達する方法を充実させる。
6-3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	平越 曾根 柳樂 平成24年8月28日
	自己評価	改善点など
1	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか。 行われている	特になし
2	入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか。 教務事務担当者が出願書類を整理し、小論文、面接等の結果を踏まえ、合否判定会議で決定しているため、正確に把握している。	特になし
補足		

IGL 医療専門学校自己点検・自己評価

項 目		記録者及び日時
基準 7	財務（予算，決算，財務情報の公開等）	曾根
7-1	財務（予算，決算，財務情報の公開等）	平成 24 年 8 月 28 日
	自 己 評 価	改善点など
		資 料
1	<p>学校教育を行う上で、必要な経費が確保され、かつ収入と支出のバランスを考慮した運営がなされているか。</p> <p>財政及び経営の状況を正確に判断できるような会計処理を行っている。</p>	特になし
2	<p>適切に会計処理がなされているか。</p> <p>学校法人会計基準の定めに従い、会計処理を行っている。 会計処理の原則及び手続きや財務計算書類は毎会計年度継続し、正確な会計帳票を作成している。</p>	特になし
3	<p>会計監査等が適正に行われているか。</p> <p>公認会計士及び学校法人 I G L 学園監事による監査を受けている。</p>	特になし
4	<p>中長期的に学校の財務基盤は安定しているか。</p> <p>学校法人の財政の維持と発展を図るため、中長期的計画目標の立案は経営者に委ねている。</p>	全教職員が目標を把握する必要がある。
5	<p>財務情報の公開が適切な方法でなされているか。</p> <p>情報は閲覧可能な状態に整備され、校内に保管してある。 情報閲覧希望の場合は申請を受け、本校内で閲覧する形式を採っている。</p>	申請手続きがやや煩瑣である。
補足		学校法人 I G L 学園情報公開規程

IGL 医療専門学校自己点検・自己評価

項 目		記録者及び日時
基準 8	法令等の遵守	平越 柳樂
8-1	法令等の遵守について	平成24年8月28日
	自己評価	資 料
1	<p>法令，設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。</p> <p>なされている。施設・設備・教職員の定数など適切に運営している。</p>	<p>(社)東洋療法学校協会編「会員校名簿」 (社)全国柔道整復学校協会制度委員会編「会員校名簿」 学校案内パンフレット</p>
2	<p>個人情報に関し，その保護のための対策がとられているか。</p> <p>とられている。</p>	IGL 医療専門学校規程集 13. 「個人情報の保護に関する規程」
3	<p>自己点検・自己評価を定期的実施し，問題点の改善に努めているか。</p> <p>各年度末に全教職員が実施している。</p>	
4	<p>自己点検・自己評価に関する方針はあるか。</p> <p>確立している。</p>	
5	<p>自己点検・自己評価を公開しているか。</p> <p>平成21年度分から公開している。</p>	学校公式ホームページ
6	<p>第三者機関による学校評価を受ける予定か。</p> <p>自己点検・自己評価を進めた上で，第三者機関による評価を受ける方向で進めている。</p>	
<p>補足：公開方法について，文書完成後ホームページ上で公開している。</p>		